



世界一の いも掘りまつり

晴天に恵まれ、約1,000人が集まったいも掘りまつり。土に触れ、いもを掘る。自然を体感できるみよしの魅力満載のイベントレポートをお届けします。

今

年で9回目を迎えた「世界一のいも掘りまつり」が9月28日(土)に開催されました。参加者が掘るさつまいもは、江戸時代から約360年受け継がれ、日本農業遺産にも認定された「武蔵野の落ち葉堆肥農法」でつくられる三芳町のブランド芋「富の川越いも」です。

会場は「いも街道」にある早川農園。中に入り、少し歩いて奥に行くと、太陽に照らされた広大な畑に一直線に伸びる約440mの長い畝が見えてきます。参加した約1000人は、待ちきれない様子で畑へ向かい、土をかき分けて自分の顔以上もある大きなさつまいもを掘り上げました。畝の長ささつまいもを掘った時の輝くような笑顔、そしてさつまいもの味、そのすべてが世界一と呼ばれる所以です。

また、いも掘りから始まり、「ヤマ」と呼ばれる平地林の散策や、上富小学校の屋上で地割見学などができる全長約2.5kmのスタンプラリーもいも掘りまつりの魅力の一つです。「武蔵野の落ち葉堆肥農法」を丸ごと体感できるコースを歩いた参加者は、「いも街道の存在は知っていたけど、奥にこんな大きな畑や林があるなんて知らなかったから、わくわくしました」と語ります。

今年も「世界一のいも掘りまつり」でたくさんの方がさつまいもと思いを、袋に詰めて持ち帰ることができたのではないのでしょうか。

おいもの
聖火!

